



# 語るもの 縁起が

縁起という言葉は、現在「縁起がいい」「縁起が悪い」というような使われ方をしています。しかし、もともと縁起は物事の由来や事のおこりを意味する言葉です。ここから、寺社を建てる、仏像をつくる、偉大な功績を残した人物を語る、あるいは土地にまつわる由緒なども縁起とよばれるようになりました。こうした縁起は、人々が語り伝え書き継ぐことで今日まで伝えられたものです。大分県内の各地域にも様々な縁起が残されています。縁起は歴史的な事実をそのまま記録したものではない部分もありますが、その縁起を伝えてきた人々が拠り所としてきた物語です。

本展では、大分県内に伝わる様々な縁起の中から、県内各地のお寺や石仏の開基とされる日羅、国東半島六郷満山の開山とされる仁聞、臼杵磨崖仏を造り、大野郡の寺院を建立したとされる真名野長者の縁起を中心に取り上げ、ふるさとの人々が大切にしてきた地域の歴史と文化を読み解きます。



仁聞菩薩像(大分県豊後高田市・長安市)



ゑほしおりさうし2巻(京都大学附属図書館)



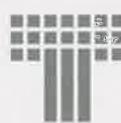
六郷開山仁聞大菩薩本紀(大分県国東市・両子寺)



阿弥陀来迎図(大分県立歴史博物館)



古園石仏大日如来像頭部〔複製〕(大分県臼杵市)



豊の国情報ライブラリー

大分県立先哲史料館

OITA PREFECTURE ANCIENT SAGES HISTORICAL ARCHIVES



〒870-0008 大分市王子西町14番1号 TEL 097-546-9380 FAX 097-546-9389  
<https://www.pref.oita.jp/site/sentetsusiryokan/> E-mail: a31710@pref.oita.lg.jp

